令和２年度愛鳥週間用ポスター原画コンクール 受賞者コメント

総　裁　賞

静岡県 静岡雙葉中学校２年
小林 日愛里さん

私がなぜこのシマフクロウをポスターに描いたかというと、それはただ、私自身が「この鳥を守りたい。守って欲しい。」と強く感じたからです。今、シマフクロウの生息地は年々減少しており、豊かな森を失い、エサを失い、仲間を失ったシマフクロウたちは、絶滅の危機に瀕しています。

しかし、そんな現状を巻き起こしたのも、シマフクロウの豊かな暮らしを荒らしたのも全て、私たち人間の責任であったと、今回ポスターを描くにあたって、私は初めて知りました。

だから私は、そんなシマフクロウを守れるのは、守っていくべきなのは私たち人間自らでなければいけない、そう感じました。ポスターの中のフクロウの目は「これ以上、森を壊さないで。」という私たちへの訴えを伝えています。隣のヒナの目は「私たちを助けて。」という悲しみのメッセージを伝えています。そんな鳥たちの思いが、このポスターを通じてみなさんに伝わればいいと思い、私はこのポスターを描きました。